京都府 中丹医療圏における平成30年度病床機能報告 速報値

病床の機能区分		焨	病床機能報告(綾部市) (H30. 7. 1 現在)			将来推計					
病床の種	茂能区分	分析前	分析	後	増減	分析前	分析	f後	増減	国推計値 令和7年(2025年)	地域包括ケア構 想の目標
高度急慢	生期	7 0	7 0	3. 32%						11. 10%	○回復期・慢性期
急性期		1054	1010	47. 91%	A 4 4	199	199	50. 90%		38. 26%	機能を充実
	小計	516	560	26. 57%	4 4	149	1 4 9	38. 11%		33. 62%	
回復期	地域急性期(仮)		(44)								
	回復期	(516)	(516)			(149)					
慢性期		399	399	18. 93%		4 3	4 3	11. 00%		17. 02%	
休棟中等	休棟中等		6 9	3. 27%			_			_	
合計		2 1 0 8 2 1 0 8 100.00% 3 9 1 3 9 1 100.00%			100. 00%	2205					

綾部市立病院 【京都方式区分:区分D(4病棟以下、重症度のしきい値 12%未満)】

平成 30 年度の病床機能報告

,= += <i>t</i> 7	平成30年7月1日時点		入院基本料・特定入院料		一般病棟用の重症 度、医療・看護必	京都方式	
病棟名	医療機能	許可 病床数		病室単位	要度を満たす患者 割合	分析結果	
3 A 病棟	急性期	5 0	急性期一般入院料 1		44. 6	急性期	5 0
5 A 病棟	急性期	5 0	急性期一般入院料 1		31. 6	急性期	5 0
3 B病棟	急性期	5 6	急性期一般入院料 1	小児入院医療管理料4 (47床)	45. 3	急性期	5 6
4 A 病棟	回復期	5 0	地域包括ケア病棟入院 料2		10.8	回復期	5 0

(〇:地域急性期(仮)とみなす)

病床の機能区分	分析前	分析後	増減
高度急性期			
急性期	156	156	
回復期	50	50	
慢性期			
休棟中等			
合計	206	206	

公益社団法人京都保健会京都協立病院 【京都方式区分:区分D(4病棟以下、重症度のしきい値 12%未満)】

平成30年度の病床機能報告

产生力	平成30年7月1日時点		入院基本料・特定入院料	院基本料・特定入院料		京都方式		
病棟名	医療機能	許可 病床数		病室単位	要度を満たす患者 割合		分析結果	
4階病棟	回復期	5 2	急性期一般入院料5	地域包括ケア入院医療 管理料1 (34床)	21. 8		回復期	5 0
3階病棟	回復期 (医療療病末)	4 7	回復期リハビリテーション病棟入院料4				回復期	4 7

(〇:地域急性期(仮)とみなす)

病床の機能区分	分析前	分析後	増減
高度急性期			
急性期			
回復期	9 9	9 9	
慢性期			
休棟中等			
合計	9 9	9 9	

医療法人綾冨士会 綾部ルネス病院 【京都方式区分:区分D(4病棟以下、重症度のしきい値 12%未満)】

平成30年度の病床機能報告

产生力	平成30年7月1日時点		入院基本料・特定入院料		一般病棟用の重症 度、医療・看護必			
病棟名	医療機能	許可 病床数		病室単位	要度を満たす患者 割合		分析結果	
A病棟	急性期	4 3	急性期一般入院料6		36. 8		急性期	4 3
B病棟	慢性期	4 3	障害者施設等10対1 入院基本料		_		慢性期	4 3

(○:地域急性期(仮)とみなす)

病床の機能区分	分析前	分析後	増減
高度急性期			
急性期	4 3	4 3	
回復期			
慢性期	4 3	4 3	
休棟中等			
合計	8 6	8 6	